ファイブ・コーナーズ／危険な天使たち（1988）

FIVE CORNERS

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ／イギリス
時間 92分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

’６４年、ＮＹブロンクス。刑務所を出たハインツ（タートゥーロ）が町に帰ってきた。まともを装う彼だが、どうにも怪しい。彼がなぜ獄中にあったかといえば、かつて、ペットショップの店員リンダ（フォスター）を襲ったからだが、その時、彼女を助けたハリー（ロビンス）はケネディ暗殺後の今や完全な非暴力主義で、自室の壁にはガンジーやキング牧師のポスターを貼り、公民権運動のデモに参加する毎日。リンダに心を寄せる男友達もハインツの言動を警戒し、帰宅する彼女の元に駆けつけるが、地下鉄のトークン・コインを落としたばかりに、彼女を彼に連れ去られる。リンダを気絶させ、フランケンシュタインよろしく抱えてさ迷うハインツはある廃ビルの屋上にたて篭る。それはまた、キャグニーのギャング映画のようでもあった。警察のライフルが遠まきに彼を狙う。そこへ難を聞き駆けつけたハリー。そして語られるハインツの歪んだ過去……。だが、解決は痛ましくも呆ッ気なかった。ユーモラスで鋭敏なディテールを積み重ね、サスペンスを滲ませる前半は見事。後半のサイコ・ホラー調は無理矢理だが、タートゥーロ怪演で、かえってこの部分が好きになる人もあるかも。監督は小市民ドラマにセンスを発揮するＴ・ビル（「忘れられない人」）。

【クレジット】

監督	トニー・ビル	Tony Bill
製作	トニー・ビル	Tony Bill
	フォレスト・マーレイ	Forrest Murray
製作総指揮	ジョージ・ハリソン	George Harrison
	デニス・オブライエン	Denis O’Brien
脚本	ジョン・パトリック・シャンリー	John Patrick Shanley
撮影	フレッド・マーフィ	Fred Murphy
音楽	ジェームズ・ニュートン・ハワード	James Newton Howard
出演	ジョディ・フォスター	Jodie Foster
	ティム・ロビンス	Tim Robbins
	トッド・グラフ	Todd Graff
	ジョン・タートゥーロ	John Turturro
	エリザベス・ベリッジ	Elizabeth Berridge
	エリック・ラ・サール	Eriq La Salle
	カール・カポトート	Carl Capotorto
	ピエール・エプスタイン	Pierre Epstein
	キャスリーン・チャルファント	Kathleen Chalfant

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.